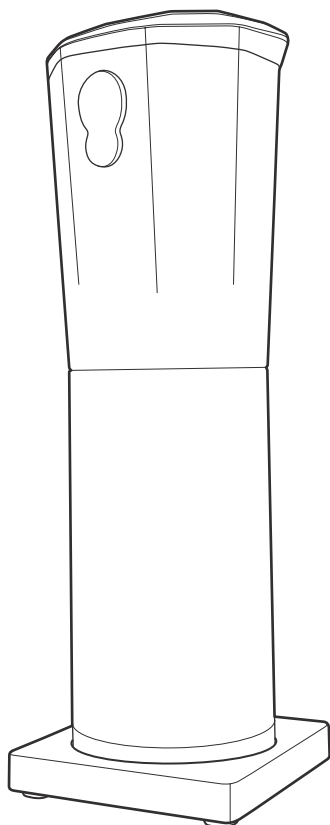


大人の氷かき器 コードレス CDIS-19

取扱説明書・保証書



このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意 P. 2 ~ 3
各部の名称とはたらき P. 4
正しい使いかた P. 5 ~ 8
お手入れと保存 P. 9 ~ 10
修理・サービスを依頼する前に P. 10 ~ 11
アフターサービスについて 裏表紙
保証書 裏表紙

単3形 × 4

単3形アルカリ乾電池4本使用(別売り)



仕 様

型 名	CDIS-19
電 源	DC6V 単3形アルカリ乾電池専用 (4本使用)
連続使用時間	1分
商品サイズ	(約) 幅 9.5 × 奥行 10 × 高さ 31.5cm (スタンド含まず)
質 量	(約) 760g (乾電池含まず)
安全装置	氷ケース感知スイッチ
付 属 品	スタンド× 1、レシピ× 1、取扱説明書・保証書 × 1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	㊄は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、㊄の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「指示」を示します。)

警告

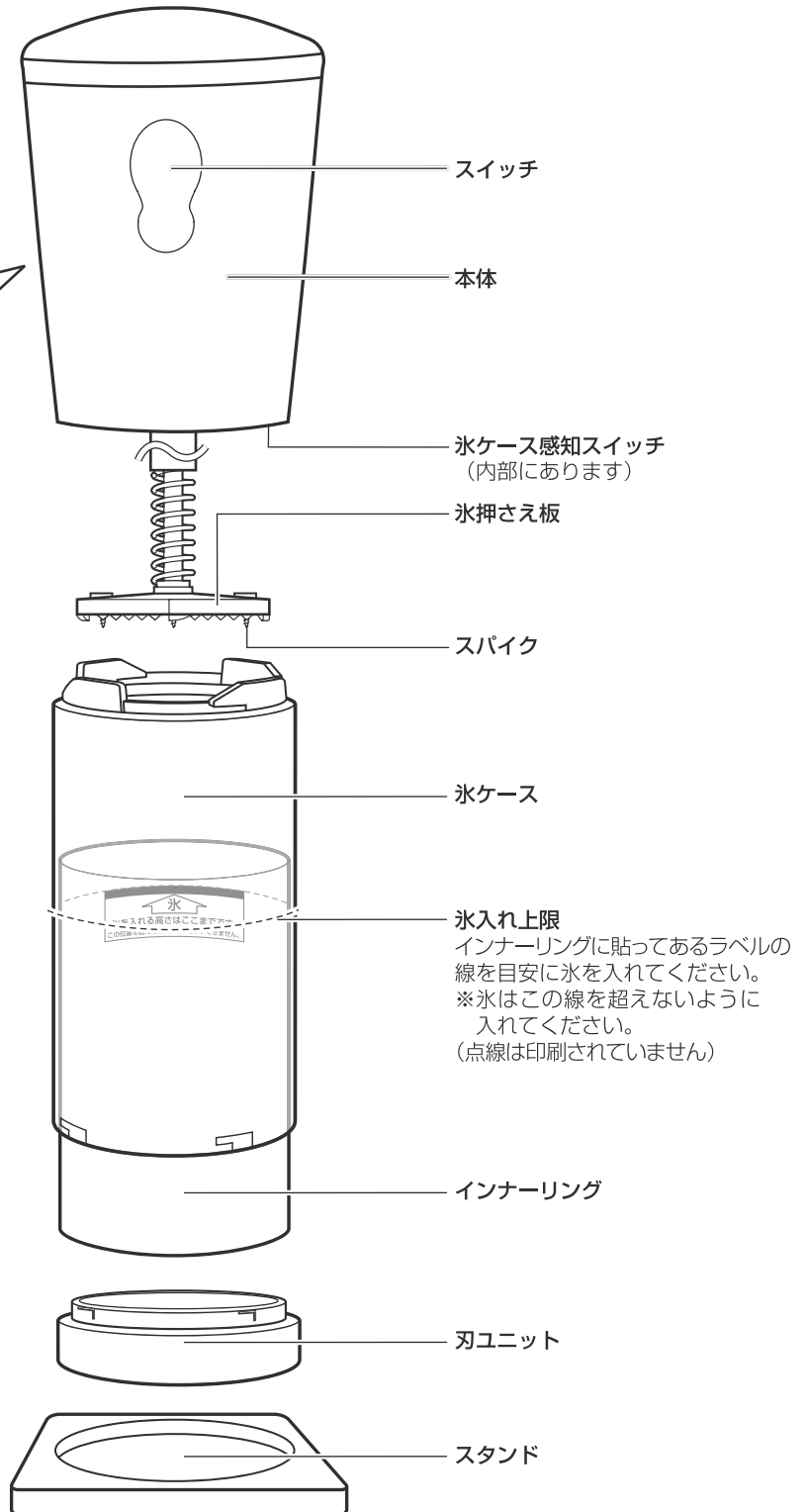
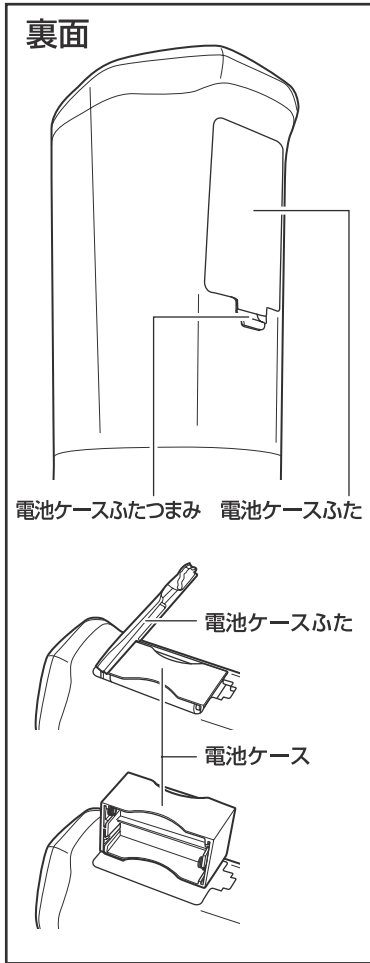
 禁止	乾電池を傷つけたり、破損させたり、無理に変形させたり、加工したり(ショートなど)、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 感電や発熱・火災の原因になります。	 指示	乾電池から漏れた液が目に入ったときはこすらずに水で洗い流し、医師の治療を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。		使用しないときは乾電池をはずす。 故障、液漏れの原因になります。
 使用禁止	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(P.11参照)にご相談ください。
	異常時(こげ臭い、発煙など)は、使用を停止し、乾電池を抜く。 感電・火災の原因になります。 湿度の高いところ、火気があるところ、直射日光があたるところで使用・保存はしない。 故障や変形の原因になります。 本機だけでなく、乾電池にも悪影響があります。	 ぬれ手禁止  水ぬれ禁止	ぬれた手で、乾電池にふれない。出し入れしない。 感電の原因になります。 本体上部を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 水洗いしない。水や油のかかりやすいところでは使用しない。 感電・ショートの原因になります。

⚠ 注意

 接触禁止	刃やスパイクには直接ふれない。 けがの原因となります。		大きな氷や市販のロックアイスを氷ケースに入れない。 破損、故障の原因となります。
	変形や破損のあるときは、使用しない。 感電や火災、やけどの原因となります。	 禁止	刃の固定ネジをまわしたりしない。 けが・故障の原因となります。
	乾電池の種類や新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 使用推奨期限を越えて使用しない。 故障や火災、液漏れの原因となります。 取り替える際は全ての乾電池を交換してください。		お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因となります。
 禁止	業務用には使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 家庭用として設計されているため、業務用としては使用しない。		乾電池の極性 (⊕⊖) は正しく入れる。 故障、液漏れの原因となります。
	不安定な場所や傾いた場所、高い場所、子供やペットの走り回る場所には置かない。 落下して故障や破損の原因となります。	 指示	1分以上連続運転をしない。連続運転後は30秒以上時間をあける。連続運転は6回までとし、そのあとは1時間以上の時間をおく。 モーター故障の原因となります。
	氷を入れた状態で本体をさかさまに持ったり、置いたりしない。 本体に水が入り、感電、故障の原因となります。		アルカリ乾電池を使用する。 アルカリ乾電池以外を使用しますと、機械が持っている性能を発揮できないことがあります。 ※日本製アルカリ乾電池を推奨致します。
	氷以外のものを氷ケースに入れない。 破損、故障の原因となります。		

各部の名称とはたらき

前面



正しい使いかた

初めて使用する前に

本体より下の部分を十分に洗って乾かす

「お手入れと保存」(9～10ページ)を参考に分解して十分に水洗いして十分に乾かします。



警告 本体は絶対に水につけない。
故障の原因になります。

乾電池を入れる

1. 本体裏面から電池ケースを取り出す

本体裏面の電池ケースふたつまみを押して、電池ケースふたをはずし、電池ケースを取り出します。
※ 電池ケースふたは、電池ケースふたつまみを押したときに、バネの力で飛んでしまうことがありますのでご注意ください。

2. 電池ケースに乾電池を入れる

市販の単3形アルカリ乾電池 4 本を用意して、電池ケースに刻印されているイラストのとおりに入れてください。



- 乾電池の \oplus には気をつける。まちがって入れると、動かないだけでなく、液漏れや故障の原因になります。
- 金属の上に電池ケースを置かない。電池ケースは金属板が表面に出ており、ショートさせる原因になります。
- アルカリ乾電池以外を使用しない。機械が持っている性能を発揮できないことがあります。
- 新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
※ 日本製アルカリ乾電池を推奨致します。

3. 電池ケースに乾電池を入れたら、本体に電池ケースを戻す

電池ケースを本体に戻すときは、電池ケースの金属板部分を本体側にある 2 本のバネにのせるように電池ケースを本体に戻します。

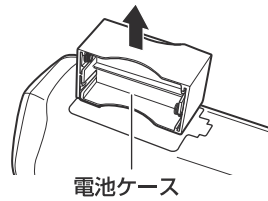
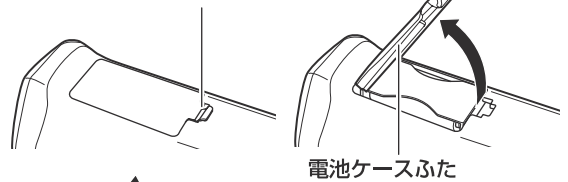
4. 電池ケースふたをする

本体の電池ケース格納部の上部に、電池ケースふたのツメ (2 つ) を差し込み、そのまま倒して電池ケースふたをします。電池ケースふたつまみ部分を確実に取り付けて、電池ケースふたがはずれないことを確認してください。

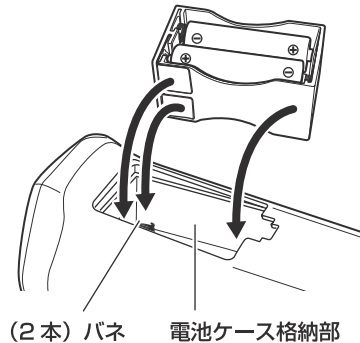
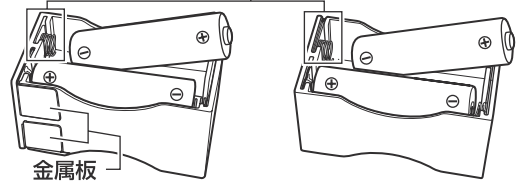


- 電池ケースふたは確実に取り付ける。確実に取り付けないと、使用中に乾電池が飛び出てきたりして、事故の原因になります。
- 電池ケースふたがきちんと入らないときや、電池ケースが熱を持っているときは、電池ケースを取り出して、2 に戻る。乾電池が正しく入っているか、異物が入っていないかなど確認してください。

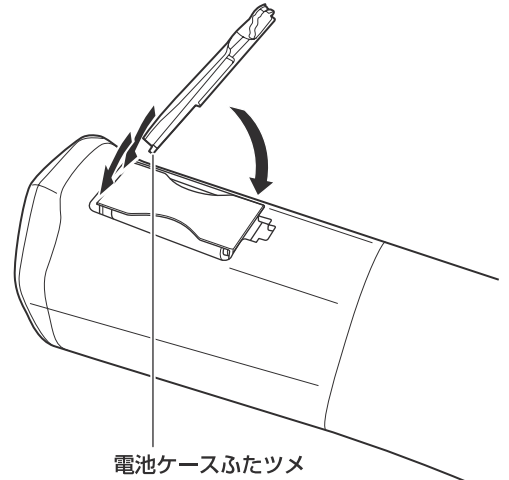
電池ケースふたつまみ



バネのある向きが \ominus マイナス



(2本) バネ 電池ケース格納部



電池ケースふたツメ

正しい使いかた(つづき)

調理《氷を削る》



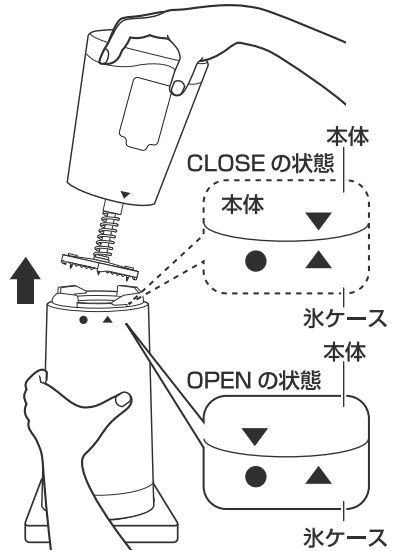
注意

- テーブルや机以外の場所で使用しない。
- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。

1. 氷ケースから本体をはずす

製品をスタンドにのせた状態で、平らな場所に置きます。片手で氷ケースをしっかりと押さえながら、もう一方の手で、本体を時計回りへ回し、本体の▼印を氷ケースの●印に合わせて、本体を引き上げ氷ケースからはずしてください。

※けがをしないように、スパイクには十分注意してください。



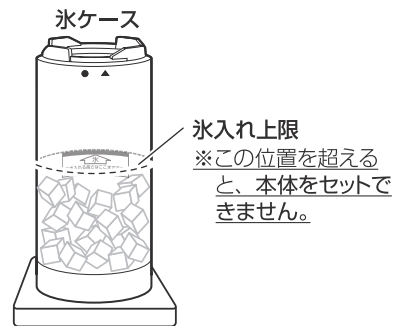
2. 氷ケースに氷を入れる

氷(市販の製氷皿で作る氷もしくは自動製氷機能付冷蔵庫で作った氷)をインナーリングを取り付けた状態で氷入れ上限(インナーリング外側の氷入れ上限シールの線)を超えないように入れてください。



注意

- 必ず氷ケース内で表面を平らにしてから本体をセットする。
本体がしまらないときがあります。
- スーパー・コンビニなどで売っているロックアイスは使用しない。
故障の原因となります。
- 本体を逆さまにしない。
本体内部に水が入り故障の原因となります。



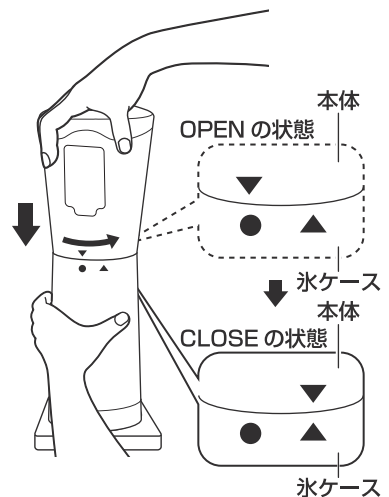
3. 氷ケースに本体を取り付ける

氷ケースがスタンドにしっかりと乗っていることを確認してください。

図のように氷ケースを握り、本体を上から強く押し込みながら、本体の▼印を氷ケースの●印に合わせ、反時計回りへ回し▲印の位置まで回してロックしてください。

※氷が氷入れ位置を超えて入っているときや斜めになっているときはロックはできません。

※本体を氷ケースに取り付けるときは、インナーリング内部のリブに引っかからないよう注意してください。



正しい使いかた（つづき）

4. 氷を削る

本体と氷ケースを両手でしっかりと持ち、ゆっくり持ち上げ、器の上に持っていきスイッチを押してください。

※このときスタンドは使用しません、製品（本体+氷ケース）だけを持ち上げてください。

本体のスイッチを押さないと製品は作動しません。また、本体を氷ケースにセットしていない状態では作動しません。

本体のスイッチから指を離すと停止します。

※氷が無くなっても、自動で止まりませんので、スイッチを離し停止させてください。

※アルコールを含んだ氷を削らないでください。

※グラスなど口径の小さい器に氷を削るときは、濡れても良い場所か、グラスの下にふきんなどを敷いて削ってください。

削るのを中断するときは、スタンドに立てておきます。

※放置時間が長いと氷が解けて、スタンドにたまりますのでご注意ください。



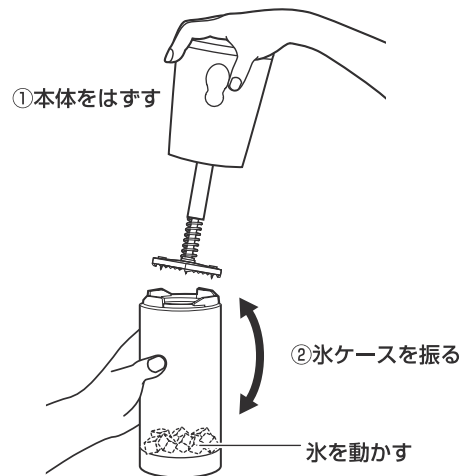
氷削り中に発生することがある現象

- 氷が引っ掛かりガタガタという大きな音がしたり、削り始めてすぐ止まることがあります。故障ではありません。
- 氷が少なくなり、刃に当たる面がなめらかになって削れる量が少なくなることがあります。

対処方法

どちらの現象も、一旦スイッチを離して再度押してみてください。それでも直らないときは、以下の方法を繰り返しお試しください。

- ①本体から氷ケースを一旦はずす。
- ②氷ケースを強く振って氷を動かしたり、氷を1個減らしたりする。
- ③再度取り付けてスイッチを押す。



⚠️ 注意

- 1分以上連続運転をしない。
- 連続運転をするときは、30秒以上時間をあける。
- 連続運転は6回までとし、そのあとは1時間以上の時間をあける。
連続運転を続けると、モーター故障の原因になります。

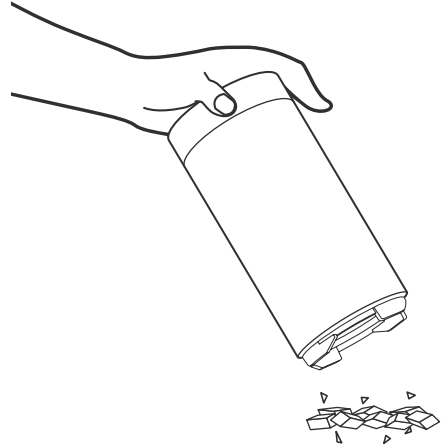
正しい使いかた（つづき）

5. 本体をはずし、氷ケースの氷を捨てる

構造上、氷ケース内に氷が残りますが故障ではありません。

続けて氷を削るときは、氷ケース内に残っている氷は、必ず捨ててください。残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。

※ 使用後は、本体に付着した水が垂れることがあります。ふきんなどの上において水切りをしてください。



注意

- 本体を逆さまにしない。
刃を上にするとう本体内部に水が入り故障の原因となります。
- 氷ケースに残った氷は捨てる。
残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。

6. 調理を終えたら、お手入れをする

氷を削り終えたら、本体以外を洗って、十分乾燥させます。

（「お手入れと保存」9～10ページ）



注意

- 使用後は十分お手入れをして乾燥させる。
そのままにしておくと、サビやカビなどの発生原因になります。
- 使用しないときは、乾電池をはずす。
故障・液漏れの原因になります。

お手入れと保存



お手入れのときは、必ず取り付けられた乾電池を電池ケースから抜く。
感電やけが、やけど、故障の原因になります。
お手入れには、アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わない。
変形、変色の原因になります。

本体・氷押さえ板（スパイク）



本体は絶対に水につけない。
故障ややけどの原因になります。



• スパイクは手でふれない。
• 本体を水につけたり、水をかけたりして濡らさない。
ショート・感電の原因となります。

1. スタンドの上に置いて電池ケースをはずす

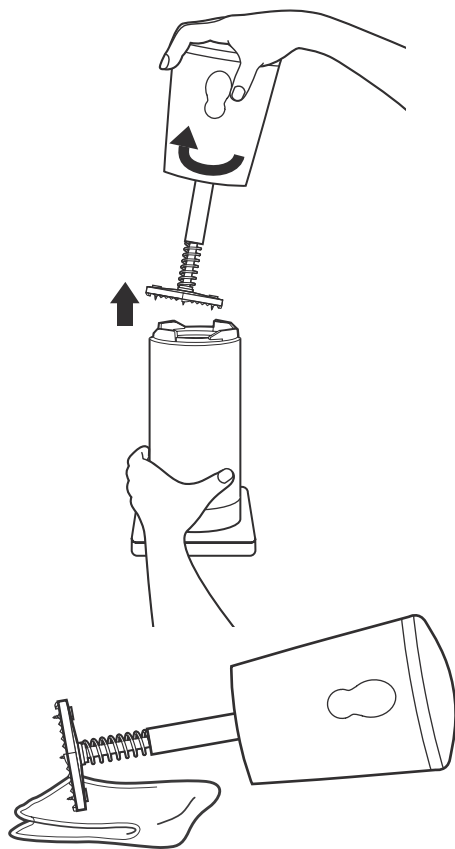
平らな場所にスタンドを設置、その上に置きます。
電池ケースを取りはずし（「乾電池を入れる」5ページ）、
電池ケースふたを取り付けておきます。
※ 必ず電池ケースふたは取り付けてください。
内部に水分が入る原因になります。
※ 取りはずした電池ケースは、置く場所に注意してください。

2. 氷ケースから本体をはずす

片手で氷ケースをしっかり押さえながら、もう一方の手で本体を時計回りへ回し、本体の▼印を氷ケースの●印に合わせて、本体を引き上げ、氷ケースからはずしてください。

3. 本体・氷押さえ板（スパイク）を乾いた布で拭く

氷押さえ板の上の部分など、水滴が残らないように拭き取ってください。



氷ケース・インナーリング・刃ユニット・スタンド

分解のしかた

図のように氷ケースと刃ユニットを持ち、矢印方向へ回しユニットをはずしインナーリングを取り出してください。



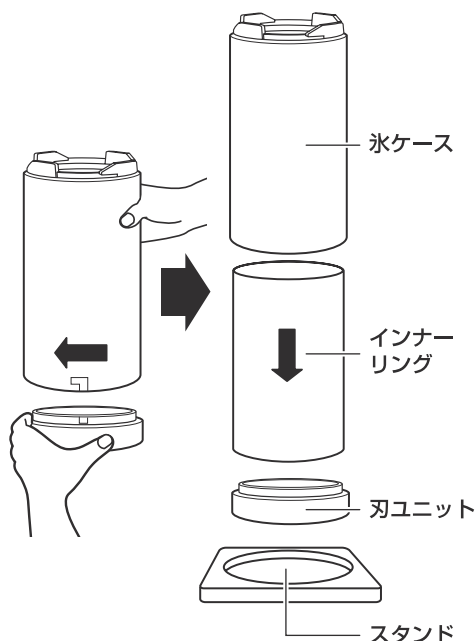
• 刃は手でふれない。
• 刃ユニットを取りはずすときは、刃にふれないように十分に注意する。
• 刃の固定ネジをゆるめたり、取りはずしたりしない。
ケガの原因となります。

1. 刃の汚れや水分を落とし、完全に乾燥させる

氷ケース、インナーリング、刃ユニットを分解しスタンドも一緒に水洗いをしてください。
汚れがひどいときは、ぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用して必ずきれいに洗ってください。

2. 乾かしたあと、刃に食用油を塗って保存する

サビ防止のため、刃に食用油を塗っておきます。



お手入れと保存（つづき）

長期保存のしかた

長期間ご使用にならないときは、必ず完全に乾いてから箱へ入れて湿気のないところへ保存してください。

※十分にお手入れをして乾燥させないと、サビやカビが発生します。



注意 使用しないときは、乾電池をはずす。
故障・液漏れの原因になります。

修理・サービスを依頼する前に



警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
スイッチを押しても作動しない	・氷の量が多い	氷の量を減らし、氷入れ上限より下に調節する
	・本体が氷ケースに正しくセットされていない	正しくセットする ※本体のみでは作動しません
	・乾電池が正しく取り付けられていない	乾電池の極性⊕⊖など確認する(5ページ)
	・電池ケースが正しく取り付けられていない	金属板と本体のバネが一致するように取り付ける(5ページ)
	・乾電池が寿命	新しいアルカリ乾電池にかえる
音はするが氷が削れない	・氷が氷ケースに入っていない	氷を氷ケースに入れる
	・氷ケース内に削れずに残った氷が入っている	氷を入れ替える(7、8ページ)
	・アルカリ乾電池を使用していない	新しいアルカリ乾電池にかえる
	・氷がロックしている	一旦スイッチを離して再度押し
	・氷押さえ板が空回りしている	それでも直らない場合は、本体から氷ケースを一旦はずして、氷ケースを振って氷を動かしたり、氷を1個減らしたりしたあと、再度取り付けてスイッチを押す(7ページ)
氷を削るスピードが遅い	・氷が少なくなったり、刃に当たる面が、なめらかになっていない	
途中で止まってしまう	・氷がロックしている	
本体がセットできない	・氷の量が多い	氷の量を氷入れ位置より下に調節する
	・氷の表面が斜めになっている	氷の表面をできるだけ平らにする

長年ご使用の氷かき器はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電池ケースが異常に熱い。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに使用を中止し、乾電池を抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。